

講演概要の執筆要領

1. 原稿はそのまま使用・校正しますので、原稿作成環境で書き出したフォント埋め込み確認済みの「PDF」ファイルと元のマイクロソフト「Word」文書の両方を、電子メールにて協会事務局 (info@jsht.or.jp) に電送して下さい。
2. 原稿は、原則、A4版2枚にまとめて下さい。また、綴じ代や頁付の都合により、上下左右とも「25mm」の余白を開けて記述して下さい。
3. 講演題目は、ゴシック体を使用して本文よりやや大きい文字（12～14ポイント程度）で第1行目中央に記載下さい。
その下第3行目に所属と研究者氏名（発表者には○を付けること）を右寄せで記載して下さい。
なお、本文は明朝体（10.5ポイント程度）を使用して下さい。
フォントはMS明朝、MSゴシック、MS P明朝、MS Pゴシック、Times New Roman、Century、Arial等を推奨致します。
4. 図・写真には「図1、図2・・・」、表には「表1、表2・・・」と表題を添えて下さい。
5. 特別な事情を除き、原則、「白黒」の写真を使用（ワード文書での張り付け）して下さい。
6. 本文は、諸言・目的・実験方法・結果・参考文献など適当な章・節で区分して明確に記述して下さい。なお、章・節はポイントシステム [1、1.1、1.2、・・・2、2.1、2.2、・・・3、・・・] に従って下さい。
7. 企業の商品名記載など、コマーシャルになる様な記述は避けて下さい。
8. 提出して頂きました原稿の著作権は、当協会に帰属するものと致します。
9. 他の著作物から図、表、文章などを転載する場合には、それら著作権者の許可を著者が得るものとします。

以上

上下左右の余白は 25mm としてください。

題目（センタリング、ゴシック体：12～14ポイント）

発表者の氏名の前に
○をつけてください。

所属、○著者（右寄せ、明朝体：10.5ポイント）
所属、 著者（右寄せ、明朝体：10.5ポイント）

1. 緒言（以下左寄せ、明朝体：10.5ポイント）

原則 2 頁で執筆してください。
原則白黒での印刷をします。白黒印刷を前提に作成をお願いします。

2. 実験方法

2.1 供試材

2.2 熱処理方法

- ・ 図および写真には通し番号で図番をつけてください。（図 1、図 2・・・）
- ・ 表には通し番号で表番をつけてください。（表 1、表 2、・・・）
- ・ 表品名などの宣伝に当たる記述は避けてください。
- ・ 原稿の著作権は当協会に帰属します。
- ・ 他の著作物から転載がある場合には、著者ご自身で著作権者に転載許可をお取りください。
- ・ 各節を分ける場合、“3.1 “と行頭の番号を表記してください。

3. 結果

4. 考察

【参考文献】